

2019年

あかしやふれあい秋まつり



主 催

あかしやふれあいまつり実行委員会

中京いきいき市民活動センター

後 援

中京区社会福祉協議会

協 力

朱雀第四学区自治連合会

11月10日（日）午前10時から中京区にある朱雀第四小学校で「2019年あかしゃふれあい秋まつり」を開催し、校区内外の市民約500人が参加しました。

今年は、毎年夏季に行っている「あかしゃふれあい盆踊り大会」が。ここ数年、天候不順が続き、やむを得ず中止や縮小を余儀なくなったこともあり、今年は、比較的天気が安定している秋の開催になりました。当日は気温も上昇し天候にも恵まれた日になりました。

開会式は、地域女性会の福田さちよさんの司会ではじまり、主催者を代表して和田紀子実行委員長（学区自治連会長）は「この企画に、校区の京都両洋高等学校吹奏楽部をはじめ京都明德高等学校ダンス部や中京いきいき市民活動センターで活動している市民活動団体の皆さんの協力を得ています。秋まつりを通して若いパワーをもらって地域の活性化につなげていきたい。」と挨拶がされました。続いて、来賓として松田晃郎中京区長と石田雅也中京区社会福祉協議会事務局次長が挨拶をされ、中京区選出の市・府議員や近隣学区自治連会長などの紹介が行われました。

第2部では、総勢約100名による京都両洋高等学校吹奏楽部（HERZ）の演奏が始まりました。今回は、演奏と部員によるパフォーマンス（唄やおどりなど）も含めて約50分間披露され、会場からは大きな拍手と歓声が湧き起こりました。なかでも、児童向け、若者向け、中高年向けの曲や来年の東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げる「東京五輪音頭」などを唄と踊りと生演奏で参加者を魅了させました。

参加者から「生演奏は迫力がある。また、朱四校卒業生が吹奏楽部員になって頑張っている姿に感銘した。」、児童からは「中学生になったら吹奏楽部に入りたい。」などの感想を述べていました。

併行して校庭では、各種団体や市民活動団体等から、そばめし、焼き鳥、豚汁、コーヒー、パウンドケーキ、プリン、京野菜販売、飲料、お菓子詰合せ、パン、ソフトクリーム、ヨーヨー釣り、クイックマッサージの出店、また、体育館内では中京いきいき市民活動センターで活動している「朱雀空手教室」、「カポエイラ」、「ハーバリウム」、けん玉遊びなど、参加者と一緒になって楽しく遊んでいました。

その後、京都明德高等学校ダンス部約70名と同校の指導・助言を受けて中京いきいき市民活動センターで活動をしている中学生から幼稚園児のキッズダンスチーム「ブースター」との共演によるダンスがところ狭しと踊り、アクロバットや地響きする迫力ある雰囲気の中で参加者とが一体感になり、小さい子ども達が身体を動かして真似ている姿が印象的でした。

最後に、宮崎茂副実行委員長から「ふれあい・交流をさらに進め、市民活動の輪を広げて地域共存社会の実現と福祉で人権のまちづくりを押し進めていきたい。」と締めくくって無事終了しました。

京都両洋高等学校吹奏楽部 (HERZ)





京都私立明德高等学校ダンス部



&
キッズチーム



「ブースター」





